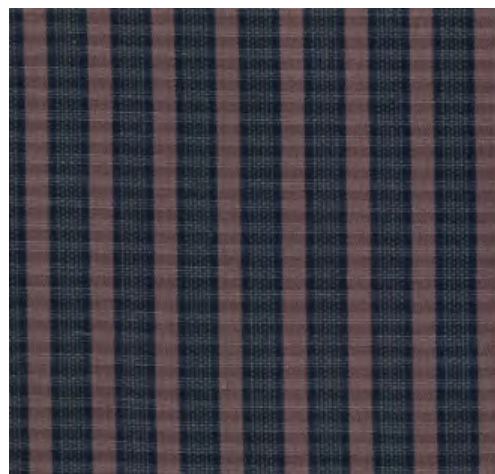


40019720 ぬ-1

大正拾年 染織物標本 第壹類

着尺地を集めた見本帳。全体的に渋い印象の生地が多い。

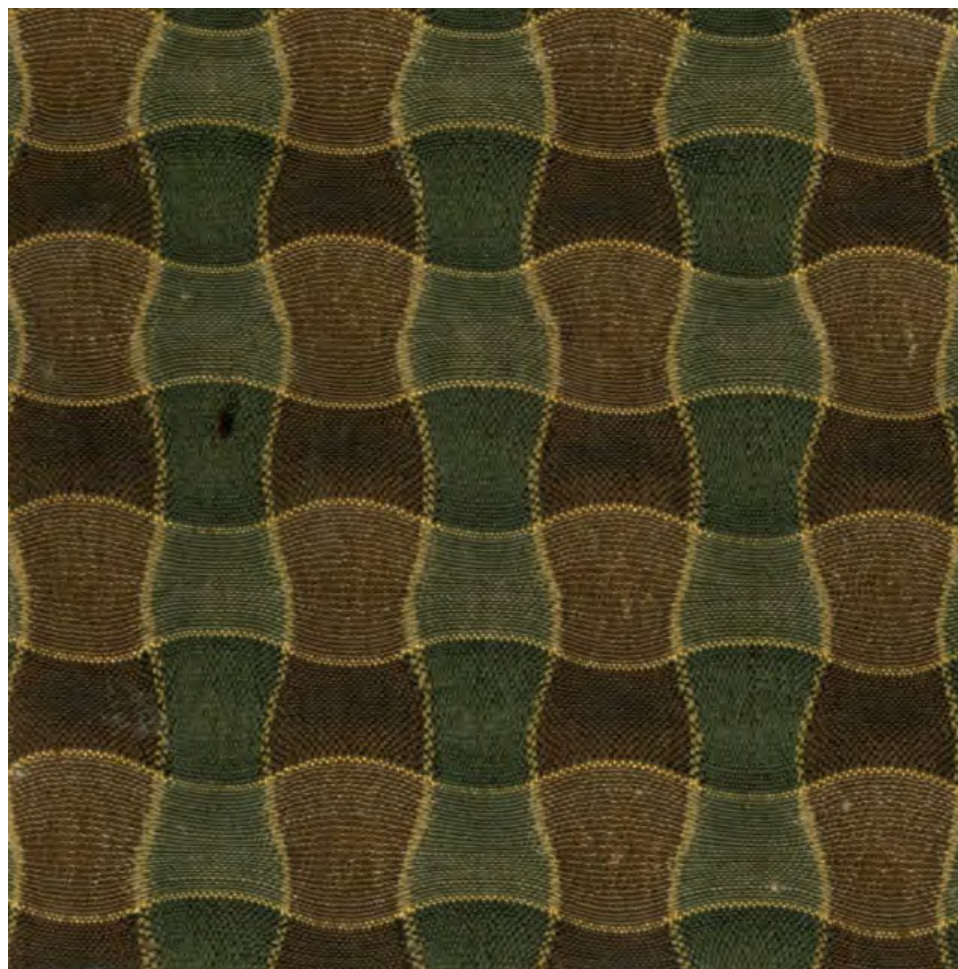


40019722 ぬ-1

大正拾壹年 染織品流行集

着尺地を集めた見本帳。

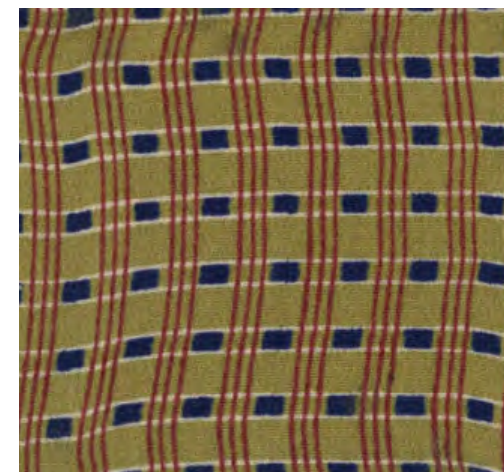
変わった織物も掲載されており、特にタテ糸とヨコ糸が揺らいている織物は今の技術では再現することが難しい、大変貴重な織物サンプルとなっている。



40019722 め-1

大正拾壹年 染織物標本

着尺地を集めた見本帳。織物サンプルの他に、寄稿された文章も掲載されており、
その中でも文学博士の書いた文章「服装の墮落」は大正11年の消費者を鋭く批評
した内容となっている。

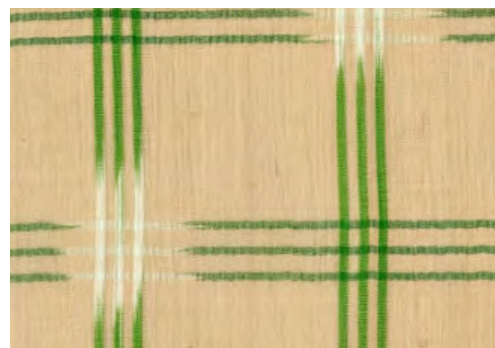
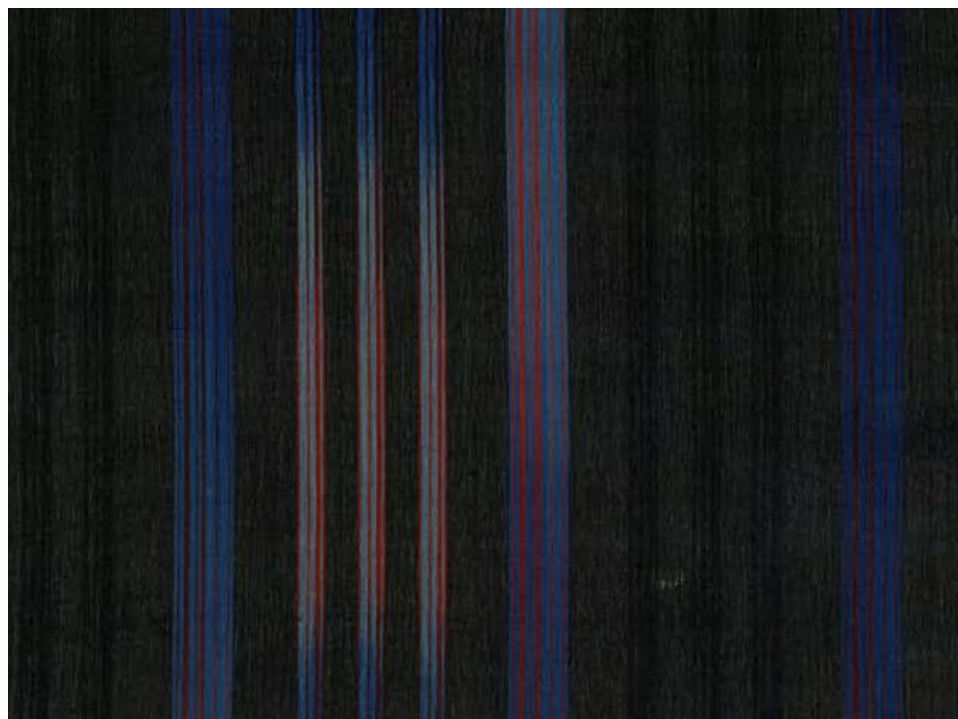
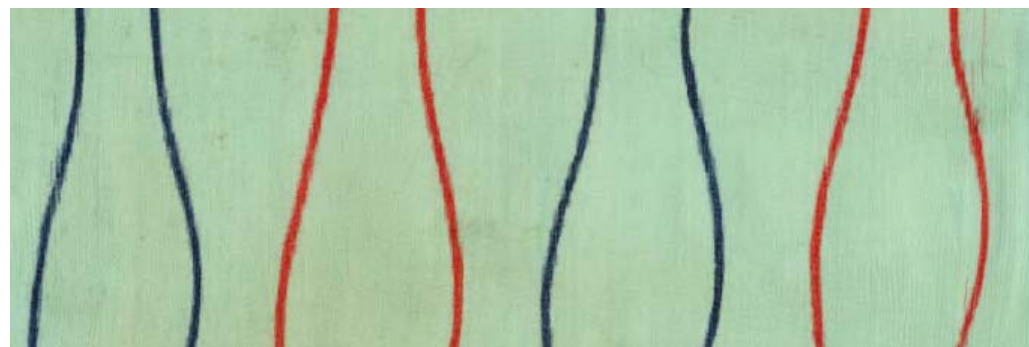


40019725 ぬ-1

大正六年 染織物標本 第六類

着尺地が集められた見本帳。

日本らしい縞から、ゲームの世界の様な奇抜な縞まで様々な生地がみられるのはとても面白い。ピンクや紫、鮮やかなグリーンなど、彩度の高い色が多く使われている。

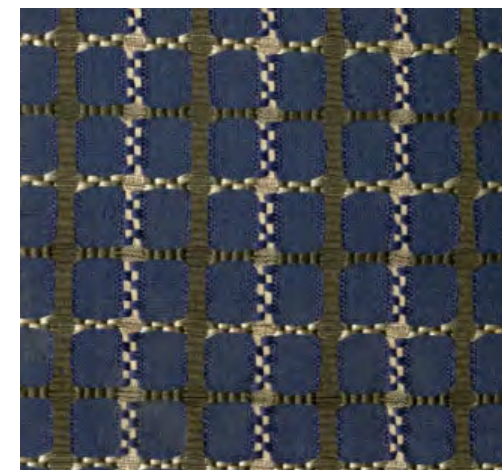
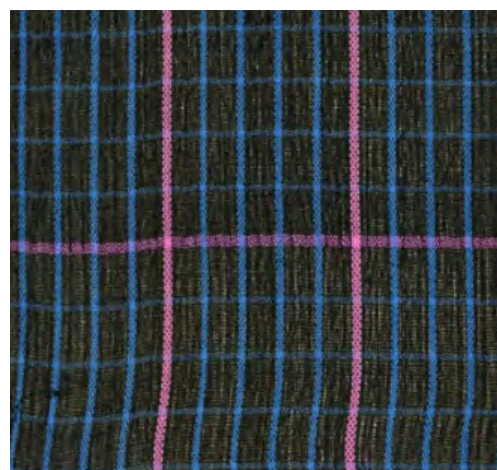


40019726 ぬ-1

大正七年 染織物標本 第壹類

着尺地を集めた見本帳。

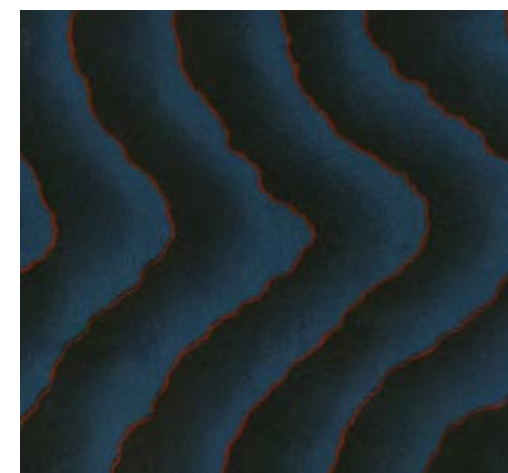
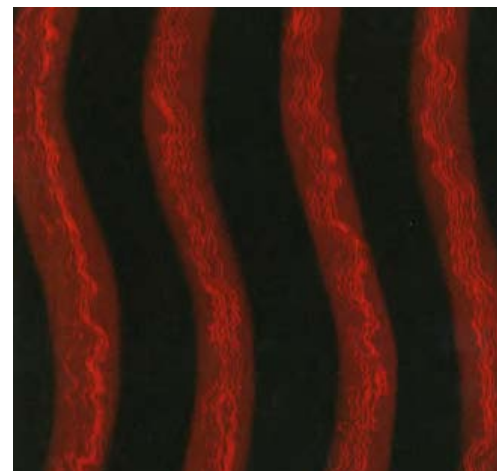
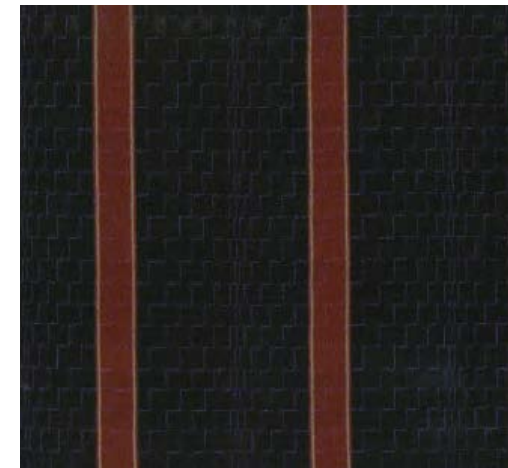
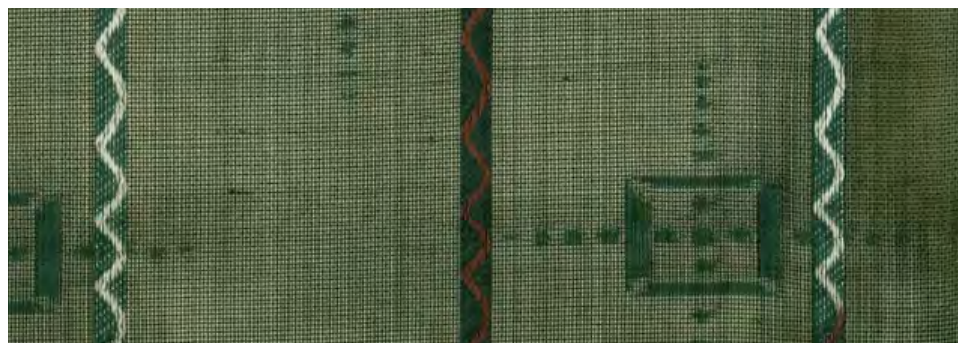
この時代は、西洋の文化と日本の文化が混ざり合ってる時代でもあり、生地の中にも混沌とした時代背景が見えてくるところは大変興味深い。



40019727 ぬ-1

大正七年 染織物標本 第貳類

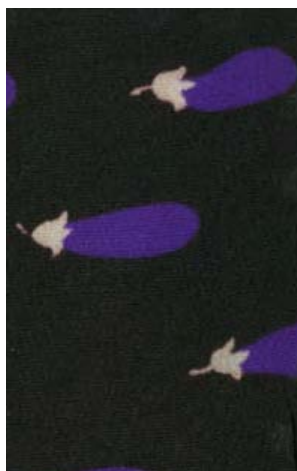
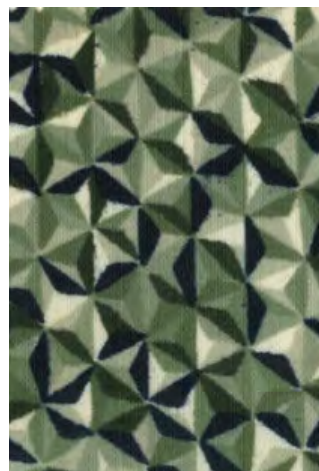
着尺地から御召地、コート地まで全国の生地を集めた見本帳。
揺らいでる縞やグラデーションがかかった縞など、少し変わった
縞の生地が印象的である。



40019728 ぬ-1

大正八年 染織物標本 第壹類

着尺地から御召地、コート地まで全国の生地を集めた見本帳。
渋い臙脂色と青緑の組み合わせた、落ち着いた色の生地が多い。



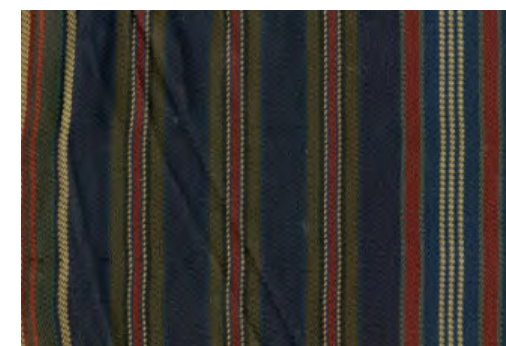
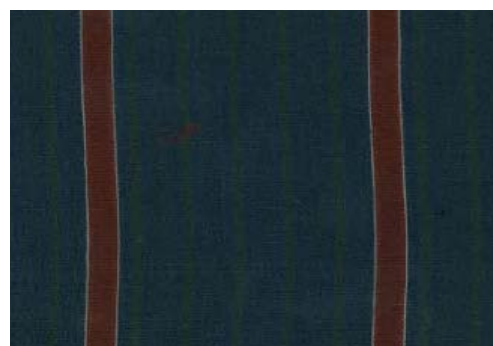
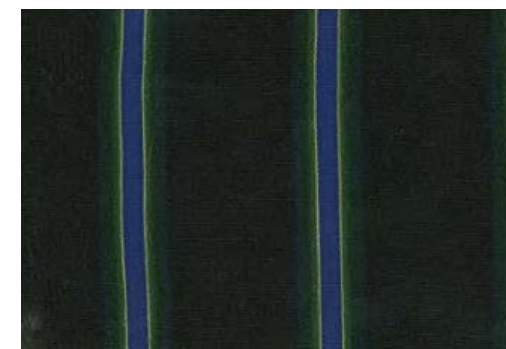
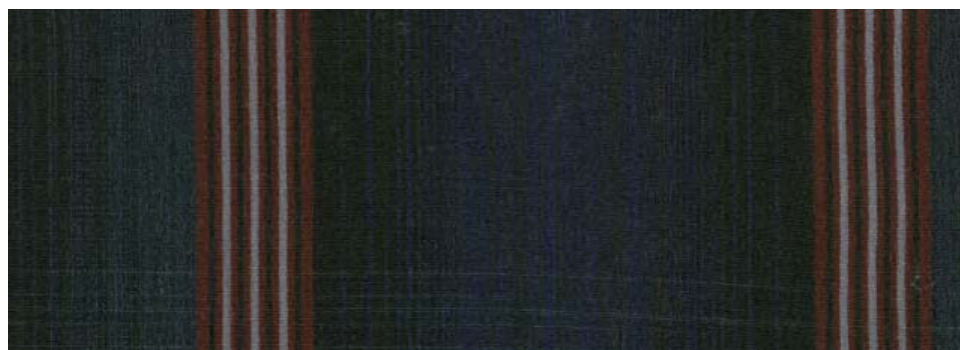
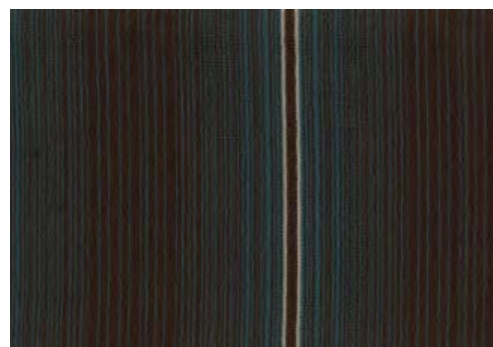
40019729 ぬ-1

大正八年 染織物標本 第貳類

着尺地から御召地、コート地まで全国の生地を集めた見本帳。

全体的に陰鬱な空気の漂う生地が多い。繊細な糸使いで作られるグラ

デーションや色の重なりは、織りならではの奥行きがある。

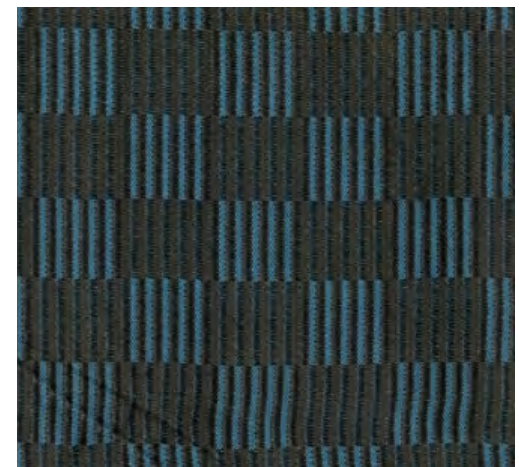
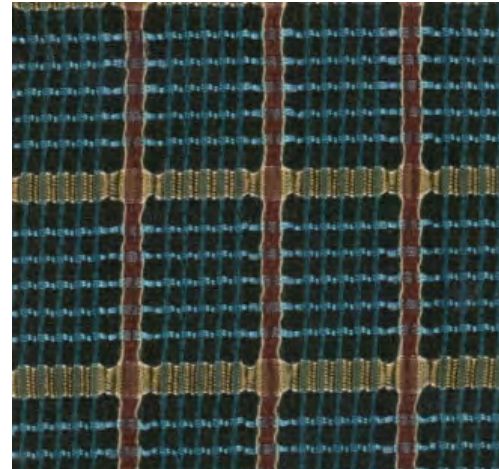


40019719 ぬ-1

大正九年 染織物標本 第壹類

着尺地を集めた見本帳。

生地の上に当時の肉筆図案まで掲載されており、当時の人がどの様に布をデザインしていたのかが垣間見ることが出来る。全体的に臙脂色、深緑、深い藍色の三色を基調にした生地が多い。



40019768 へー5

大正13年～昭和3年 収集見本帳

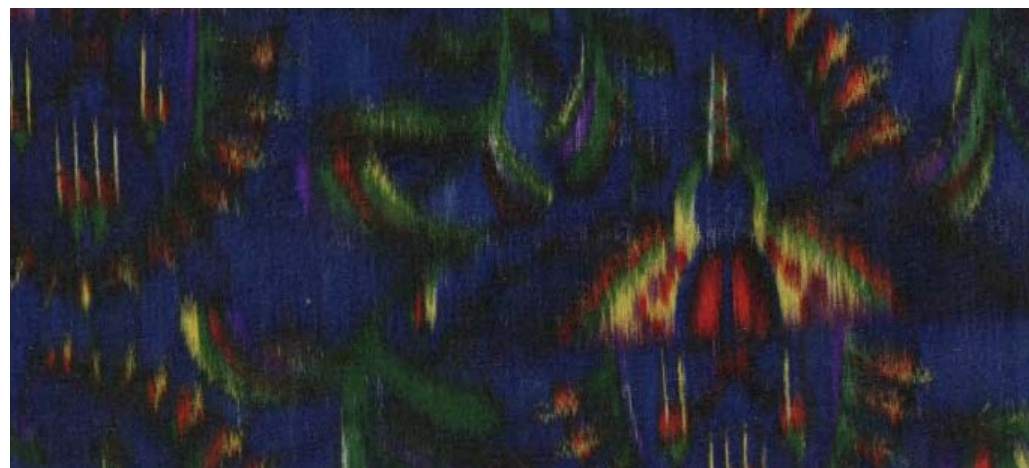
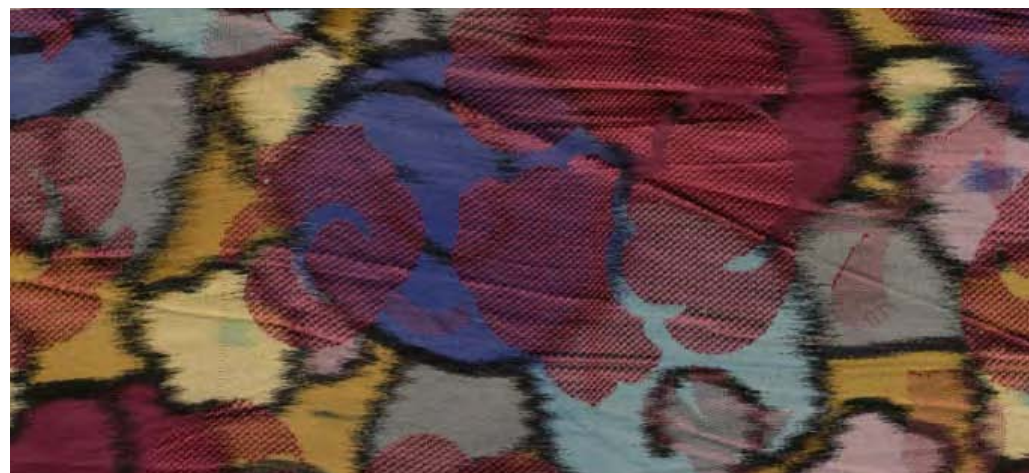
無地、ストライプ、ホグシ織の生地を集めた見本帳。生地サンプルの中にはジャカード織りの柄とホグシ織の柄とを重ねた、変わった表情の織物もある。



40019762 へー5

大正時代 試験所 試作見本帳

試験所で試作された生地を集めた見本帳。ホグシ織の生地
や派手な縞の生地が多い。



昭和、大正時代 産地収集見本帳

様々な生地を集めた見本帳。無地やチェック地の他に、ほぐし織りとジャカード織りを重ねた、変わった表情の生地もある。

